



# FUSO TOPICS 2020-2026

第64期中間事業報告書から第69期事業報告書までの特集・トピックスを掲載



## TOPICS 1

### 福知山市三段池公園総合体育館 ネーミングライツ取得

福知山市三段池公園総合体育館のネーミングライツを取得いたしました。

愛称をきっかけに、京都事業所がある福知山市の皆さまに、広く当社を認知していただくことを期待しています。



## TOPICS 2

### ライフサイエンス事業部 東京研究所拡張

東京研究所におけるライフサイエンス事業部の区画を拡張し、充実した実験・分析スペースとテストキッチンを備えました。東京近郊という地理的優位性を活かし、国内外のお客様や研究機関との連携を深め、「果実酸®」を基盤としたライフサイエンス分野における新たな価値創造に貢献してまいります。



特集

新中期  
経営計画

# 「飛躍2030」

Next Growth 2030



←YouTube公式チャンネルで  
説明動画を公開しております

### 社は：限りなき進歩と創造

#### 経営信条

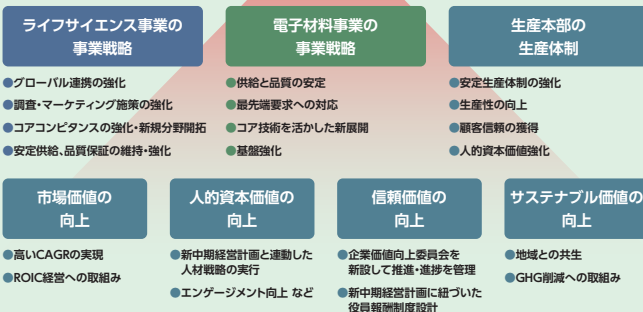
- 一. 信用を重んじ確実を旨とする
- 一. 技術を通じて国家社会に貢献し
- 一. 社業の繁栄によって従業員の豊かさを築く

#### 長期ビジョン

- グローバルニッチトップ企業として進化する
- FUSOの技術で未来を支える
- 新事業創造に向けて限りなく挑戦する
- 「FUSOと出会えて良かった」を届ける

### 新中期 経営計画 「飛躍2030」

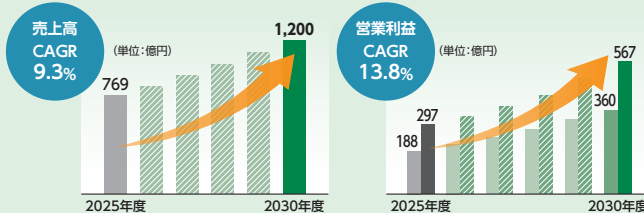
(計画年度 2026年度～2030年度)



#### 新中期経営計画（グローバルニッチトップに向けた財務目標）

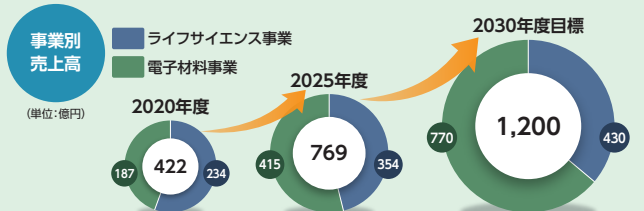
	2025年度実績	2030年度目標	CAGR*
<b>新中計 全社目標</b>			
売上高	769	1,200	9.3%
営業利益	188	360	13.8%
償却前営業利益	297	567	13.7%

\* 新中期経営計画の前年度をベースとして 1米ドル = 150円 \* 全社の営業利益・償却前営業利益には、共通経費などの調整額を含む



	ライフサイエンス事業			電子材料事業		
	2025年度実績	2030年度目標	CAGR	2025年度実績	2030年度目標	CAGR
売上高	354	430	4.0%	415	770	13.2%
営業利益	53	75	7.2%	159	320	15.0%
償却前営業利益	69	95	6.5%	250	505	15.1%

\*CAGR=Compound Annual Growth Rate (年平均成長率)



#### 企業価値向上への取り組み（ライフサイエンス事業）

強み：国内で希少な果実酸製造メーカー、海外市場売上比率50%超

<b>グローバル連携の強化</b>	中国ビジネス 東南アジア市場 米国・欧州市場	● 海外子会社と一体になった事業戦略 ● 食品添加物製剤のアジア向け拡販	● 果実酸の海外市場シェア拡大 ● 米国拠点の強化
<b>調査・マーケティング施策の強化</b>	自社製品販売強化 国内ビジネス成長 一人当たり収益の向上	● 収益機会をもとめた市場の開拓 ● 一次産業向け市場開拓 ● 生産の安定と能力向上を背景とした攻勢	● 安定成長取引先深耕と開拓 ● DXによる購買管理体制強化・可視化
<b>コアコンピタンスの強化・新規分野開拓</b>	FFA*関連製品 酸化防止技術 有機酸の健康寄与技術	● フードロス削減製品強化 ● 健康・ヘルスケア分野のニーズ開拓	● 超高純度果実酸の育成 ● 新規技術・用途開発
<b>安定供給、品質保証の維持・強化</b>	製造品質強化 医薬品グレード供給体制 FUSOブランド力強化	● QMS (Quality Management System) 体制による製造品質強化 ● 新規開発品の早期生産体制確立 ● ブランド浸透施策の実施	

#### 企業価値向上への取り組み（電子材料事業）

強み：超高水準の材料を設計から供給、品質保証まで一貫して提供

<b>供給と品質の安定</b>	設備投資対応 BCP対応 品質管理高度化	● 需要動向を考慮した適切な投資時期判断 ● 複数拠点での生産対応 ● 原材料サプライチェーンの強靱化	● 重要工程のロバスト化と設備保全の高度化 ● 品質管理のデジタル化
<b>最先端要求への対応</b>	粒徑制御技術 高純度化技術 材料設計技術	● 次世代ノード、新材料への対応 ● ユーザーとの協業深化	
<b>コア技術を活かした新展開</b>	超高純度化 粒子設計・分散制御 精密分析・品質保証	● 新たな機能性材料の開発 ● 解析/評価サービスの向上 ● CMP*周辺用途、隣接分野への用途展開	
<b>基盤強化</b>		● ロードマップ型開発と、量産移管までの一貫した開発プロセスを整備 ● 省エネ化、廃棄物低減、化学物質管理強化などの環境対応	

\*FFA: Functional Fruits Acid (機能性果実酸) などの総称

\*CMP: Chemical Mechanical Planarization (化学的機械的平坦化)

## TOPICS 1 鹿島事業所

### 超高純度コロイダルシリカ (Quartron®) II期工事完了



鹿島事業所の超高純度コロイダルシリカII期工事が完成し、9月に竣工式を行いました。本設備稼働により、鹿島事業所I期設備および、京都事



業所の設備増設と合わせて、生産能力は2022年度比で約1.5倍に拡大します。

超高純度コロイダル

シリカは、半導体製造プロセスに欠かせない素材で、近年の半導体市場の拡大に伴い需要が増大しています。当社はこの需要に応えるため、新たな生産能力を活かして、より強固な供給体制を構築しました。安定的に高品質な製品を提供し、信頼される素材メーカーとしての責務を果たしてまいります。

## TOPICS 2 神栖市 企業版ふるさと納税

今年度、鹿島事業所が所在する茨城県神栖市の「コミュニティバス事業」へ、企業版ふるさと納税制度を活用した寄付を行いました。寄付はバスの運営費に充てられ、当社ロゴをあしらったラッピングバスが、今後3年間にわたり市内を走行する予定です。

このバスは地域住民の皆さまの移動手段として活躍するとともに、当社の認知度向上にも寄与するものと考えております。

今後も地域の皆さまと共に歩み、地域社会への貢献活動に積極的に取り組んでまいります。



## TOPICS 3 WEBサイト 事業部ページをリニューアル

製品の検索性を高め、お客様の利便性向上と新たなビジネス機会の創出を目的に、ライフサイエンス事業部および電子材料事業部のページを刷新いたしました。

新デザインでは両事業部のページ構成を統一し、製品情報に

アクセスしやすくなりました。また事業内容をより深くご理解いただけるコラムコーナーを新設しています。

商品特性がよく分かる内容となっておりますので、ぜひご覧ください。



● ライフサイエンス  
Life Science



● 電子材料および機能性化学品  
Electronic Materials & Functional Chemicals



## TOPICS 1

### 新しい研究開発拠点

昨年10月、大阪府東大阪市に敷地を購入し、研究開発機能を集約した新研究開発拠点の開設計画を進めています。増員に対応するとともに、神戸と新大阪に分散する研究所を集約させます。

この統合により、関西と関東の両地域それぞれに、ライフサイエンスと電子材料の両事業が融合した研究拠点が完成します。設備効率化や人員の充実に一層力を入れることが可能になります。「領域を越えて“繋がり” FUSO の技術や想いが“循環する” 研究開発拠点」をコンセプトに、既存事業の更なる発展/新事業創出を目指します。

新研究開発拠点は2028年稼働開始の予定です。



## TOPICS 2

### マテリアル賞受賞 – nano tech 2025 –

当社は、今年1月に東京ビッグサイトで開催された「nano tech 2025」で『マテリアル賞』を受賞しました。

受賞したのは「中空シリカ (Miralica™)」という製品です。当社の主力製品「超高純度コロイダルシリカ (Quartron®)」を作る技術を応用して開発したものです。主に電子基板(電子部品を乗せる板)に使用される材料として、5Gや6Gと呼ばれる次世代の通信技術に役立つ特徴を持っています。その性能が評価され、今回の受賞につながりました。

中空シリカの一番の特徴は、「比誘電率」が2.0ととても低いことです。比誘電率とは、電気をどれくらい貯めやすいかを表わす数値で、この数値が低いほど電気信号がスムーズに流れやすくなります。このため中空シリカを電子基板の絶縁層(電気を通さない層)に使うと、電気信号のロスを減らすことができ、機器の省エネ化に役立ちます。



さらに、この製品は内部が空洞になった「中空構造」をしているため、とても軽いのも特徴です。この軽さにより、スマートフォンや通信機器をもっと軽くすることができます。

## TOPICS 3

### YouTube 公式チャンネル開設 FUSO CH.



ウェブサイトで公開中の企業や製品を紹介する映像を、YouTube公式チャンネル上にまとめ、公開しております。是非ご覧ください。

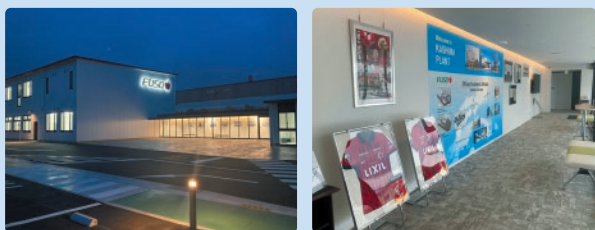


こちらからも  
アクセスできます

TOPICS

## 1 鹿島事業所 新しい事務所棟が完成

鹿島事業所は、リンゴ酸製造設備に加え、昨年より超高純度コロイダルシリカ製造設備も稼働し、当社の一大生産拠点となっています。6月には、国内外のお客様をお迎えするにふさわしい事務所棟が完成しました。開放的な吹き抜けホールにある大きな窓からは自然光も差し込み、広々とした食堂や衛生的な浴室など厚生設備も完備し、社員の働きやすい環境が整いました。今後も、扶桑化学工業のフラッグシップ事業所として発展を続けていきます。



TOPICS

## 2 青島扶桑精製加工有限公司 設立30周年

1994年に7月に設立した青島扶桑が今年で30周年となります。設立当初の街並みもすっかり変化し、青島扶桑と共に目覚ましい勢いで成長しています。

設立当初は、中国で生産されたクエン酸を精製し、品質に厳しい日本国内の飲料・食品メーカー向けに販売を開始いたしました。現在では、クエン酸以外の果実酸の生産拠点でもあり、電子材料分野におきましては超高純度コロイダルシリカの原料となる金属ケイ素の仕入れから粉碎までを担っております。



TOPICS

## 3 京都事業所 超高純度コロイダルシリカ(Quartron<sup>®</sup>) 増設設備が完成

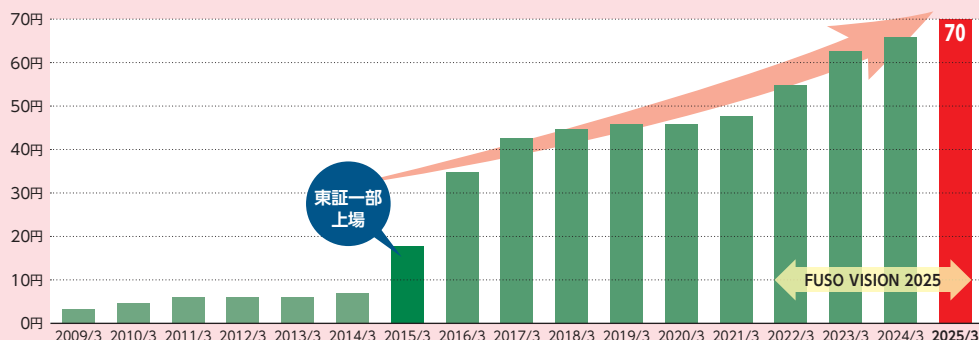
京都事業所の超高純度コロイダルシリカの増設設備が完成し、10月に竣工式を執り行いました。今回の京都事業所、そして来年7月完成予定の鹿島事業所の増設設備により、生産能力は2022年度比で1.5倍となります。



TOPICS

## 4 累進配当の採用

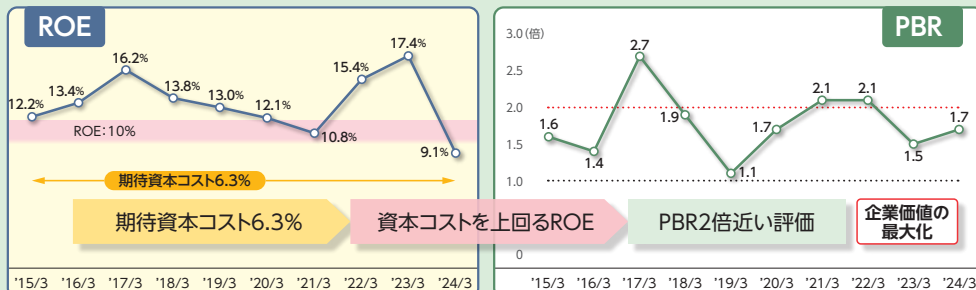
当社は、2009年3月期から2025年3月期(予想)まで、16期連続配当の維持もしくは増配をしております。この実績を継続していくことを明確にし、株主様に対する安定的な配当を維持していく目的で累進配当の考え方を採用いたしました。



## TOPICS 1 資本コストや株価を意識した経営

当社の株主資本コストは6.3%と試算しており、ROE10%を達成できれば、付加価値を創出できていると考えております。当社ROEは、2021年度、2022年度と2期連続で15%を上回るとともに過去最高益を更新しておりましたが、2023年度は電子材料事業における先行投資に伴う償却費負担が大きく、ROEは10%を下回る結果となりました。一方、当社PBRは2015年頃まで1倍を下回る状態が続いておりましたが、東証1部(現プライム市場)上場以降、継続して1倍超を維持しております。

当社の中長期的な収益の安定性や成長性に対して株式市場から十分な評価を得られる様、各施策を着実に実施してまいります。



● ROE: 自己資本利益率 (Return on Equity) 自己資本に対する当期純利益の比率  
● PBR: 株価純資産倍率 (Price Book-value Ratio) 一株あたり純資産に対する株価の倍率 ('24/3については2024年3月25日終値で計算)

## TOPICS 2 PMP社における設備増強



当社の米国連結子会社であるPMP Fermentation Products, Inc. (PMP社) は、コンクリート混和剤や、肥料、食品向け等様々な用途に使用されるグルコン酸及びグルコン酸ナトリウムを製造・販売する北米唯一のメーカーです。コロナ禍からの経済回復が進む北米市場において、引き続き需要の拡大が見込めることから、増産

のための設備投資を進め、2023年10月に完成いたしました。当該製品は、今回の増産投資により製造能力を約2割増強し、お客様からの需要増にお応えしてまいります。

## TOPICS 3 会社紹介動画更新



◀こちらからご覧ください



当社ホームページ上で公開中の会社紹介動画の内容の一部をアップデートしました。鹿島事業所の超高純度コロイダルシリカの新製造設備、京都事業所から移転した新しい研究開発拠点「神戸

研究所」、「上海食品調味料開発センター」など海外子会社の最新の様子を盛り込んでおります。是非、ご覧ください。

## topics 1 本社移転

本社を日本生命淀屋橋ビルに移転し、9月19日より業務を開始しました。

新本社は全部署がワンフロアで勤務できるオープンな空間となります。部門を超えた、より活発なコミュニケーションを促し、アイデアやイノベーションの創出を目指したレイアウトです。

また、オフィスの一新に合わせて、ペーパーレス化を徹底するため文書管理システムを新たに導入し、業務の効率化も図っています。今後も従業員の生産性向上を目指すとともに、従業員が働きやすい快適な職場環境を整えることに注力してまいります。



## topics 2 鹿島事業所Ⅱ期工事起工式

8月28日鹿島事業所にて、超高純度コロイダルシリカ製造設備のⅡ期建設工事を始めるにあたり、工事の安全と順調な完成を祈念して起工式を執り行いました。

4月には鹿島事業所内に超高純度コロイダルシリカの新しい製造設備が完成し（Ⅰ期工事）、順調に稼働が進んでいる中で、製品供給力をより一層高めるための追加設備投資となります。半導体市況の回復と継続的需要増を見据え、2025年7月の完成に向けて建設を進めてまいります。



▲2025年7月Ⅰ期・Ⅱ期完成予定図

## topics 3 夏休み科学実験教室開催

8月下旬、株式会社オレンジページ協力の下、親子で楽しむ科学実験教室を開催しました。

参加者の方には、クイズや実験に実際に取り組んでもらいながら、身近な生活の中であって、おいしさにも深く関わっている様々な酸味料（果実酸）の特徴や、酸味料を含む食品添加物の特性を知って頂きました。また、当社が提供する酸味料が食の安全を守るだけでなく、食生活を豊かにし、フードロスに貢献していることを知ってもらえる良い機会となりました。





## 1 電子材料事業 新製造設備竣工

鹿島事業所



シリカ充填出荷棟

鹿島事業所内に、超高純度コロイダルシリカの製造設備が完成しました。これによって電子材料事業部門は、京都事業所(京都府福知山市)の既存2工場に、東日本の製造拠点を加えることとなり、お客様からのBCP(事業継続計画)対策の要求に応えつつ、当社の高品質な製品供給力の優位性を一段と高めてまいります。この新設備で製造される超高純度コロイダルシリカは、主に半導体製造工程での精密研磨剤・CMP(化学的機械的平坦化)用途で使用されています。今後も継続的な需要の拡大が予想されるため、鹿島事業所内に2025年夏完工を目指し、更なる設備投資工事も計画しております。



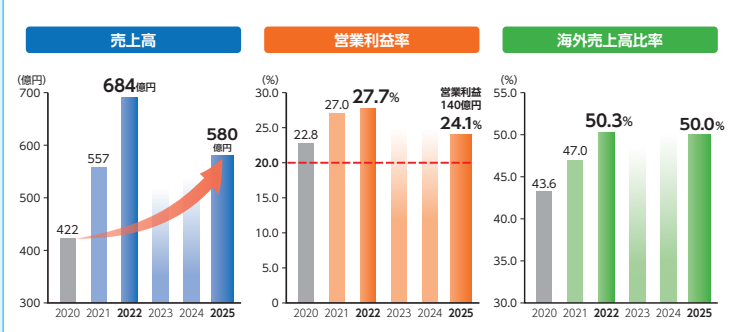
## 2 「中期経営計画」上方修正

当社は2021年度より5年間の中期経営計画「FUSO VISION 2025」の完遂に向け、事業活動を推進してまいりました。その結果、売上高・営業利益率をはじめとする業績が、計画策定当初の想定を大きく上回

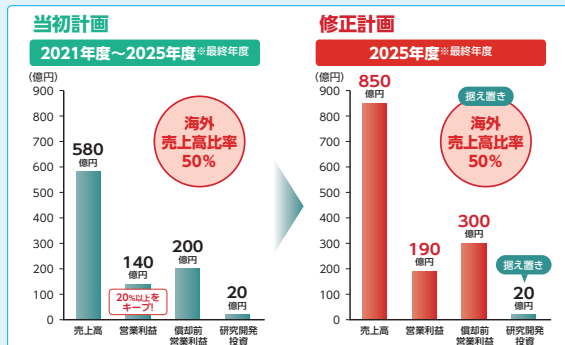
りました。さらに、足元の事業環境が目まぐるしく変化していることも受けて、最終年度の経営目標を変更いたしました。引き続き、新たな目標達成に向けて取り組んでまいります。

### FUSO VISION 2025 進捗と修正計画の概要

#### 1. 2年間の進捗



#### 2. 新たな経営目標



## 3 「サステナビリティ報告書」公開



サステナビリティ基本方針を公表後、当社は気候変動対策に関する情報開示やESG(環境・社会・ガバナンス)の課題解決に取り組み、2022年12月に初めて報告書として公開しました。「サステナビリティ報告書」は、当社ホームページのサステナビリティページからご覧いただけます。



▲サステナビリティページはこちら



## 4 鹿島アントラーズとのクラブパートナー契約締結

鹿島でライフサイエンス事業を展開するようになって6年目。2023年4月より電子材料事業の生産設備も整い、鹿島事業所はますます重要な役割を担っていくことになります。鹿島地域から勇猛果敢に勝利を目指すフットボールクラブとのパートナー契約を通じて、更なる飛躍を目指す当社の存在を鹿島周辺地域にアピールしていきたいと考えています。



©1992 K.A.F.C

## TOPICS① ライフサイエンス事業

### PMP社における設備投資

当社の米国連結子会社であるPMP Fermentation Products, Inc. (PMP社)は、コンクリート混和剤用途、肥料用途、食品用途等様々な用途に使用される化学品「グルコン酸ナトリウム」類を製造・



販売する北米唯一のメーカーです。コロナ禍からの経済回復が進む北米市場において、今後も引き続き需要の拡大が見込めることから、増産設備投

資により製造能力を約2割増強させることを目指しています。当該製品に対して、現在もお客様からの多くの供給要望をいただいておりますが、今回の増産投資により供給体制を整え、需要にお応えしてまいります。

設備投資内容	主発酵槽および付帯設備、各種タンク、その他
投資予定額	約12億円(855万米ドル) ※1米ドル=140円
資金計画	PMP社自己資金により充当
操業開始時期	2023年10月(予定)

#### ■PMP社 主要な損益情報(2022年3月期)

売上高	61.7億円(55.0百万米ドル)*
経常利益	13.0億円(11.6百万米ドル)*
当期純利益	9.4億円(8.4百万米ドル)*

\*為替換算レート:1米ドル=112.38円

## TOPICS② 電子材料事業

### 「神戸研究所」開設



これまで当社電子材料および機能性化学品事業部は日本国内に二つの研究開発拠点(福知山市・川崎市)を有して

おりましたが、京都事業所内の研究開発拠点(福知山市)を移転し、2022年7月に「神戸研究所」として設立いたしました。

同施設は、ますます高度化する半導体産業へ着実な技術提供を実現するため、電子材料事業の研究・技術開発を主導する役割を担い、当社グループ技術革新の最重要拠点と位置付けています。また、神戸空港や関西主要都市部だけでなく、量産体制の拠点である京都事業所ともアクセスが良い立地です。国内外のお客様・研究機関

とのコミュニケーションをさらに充実させ、市場とお客様に密着し、ニーズに合わせた製品研究・開発を行うとともに、研究員がより活躍できる魅力的な環境を整え、優秀な人材確保、育成の取り組みにつなげてまいります。

名称	神戸研究所
所在地	神戸市中央区港島南町七丁目1番16号 神戸医療機器開発センター207
事業内容	ナノ粒子『超高純度コロイダルシリカ』のコア技術を中心とした高機能素材開発

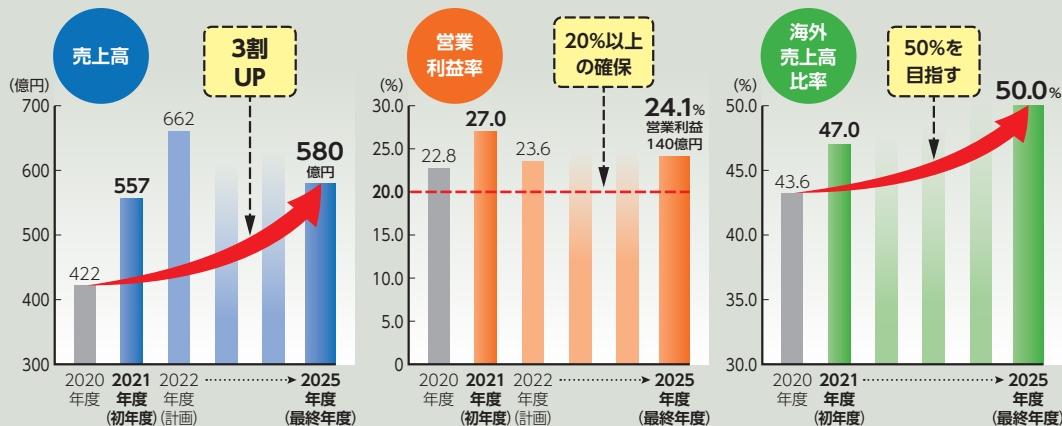
当社グループは中期経営計画の中で、将来の成長ドライブとなる、研究開発投資を大幅に増額することを計画しています。「神戸研究所」の設立は、社である「限りなき進歩と創造」の下、中長期を見据えた当社グループの研究開発体制構築の序章です。

社会課題の解決に貢献するFUSOであるために、常に先を見据え、新製品開発・新技術開発への投資・挑戦を加速させてまいります。

## TOPICS FUSO VISION 2025 初年度の進捗報告

### 2021年度～2025年度 中期経営計画

- 売上高**  
3割アップを目指します。
- 営業利益率**  
20%以上を確保します。
- 海外売上高比率**  
50%を目指します。



## サステナビリティ委員会の設置

●2021年12月

サステナビリティ基本方針の制定及びサステナビリティ委員会の推進体制を決議。

### MISSION 企業の使命

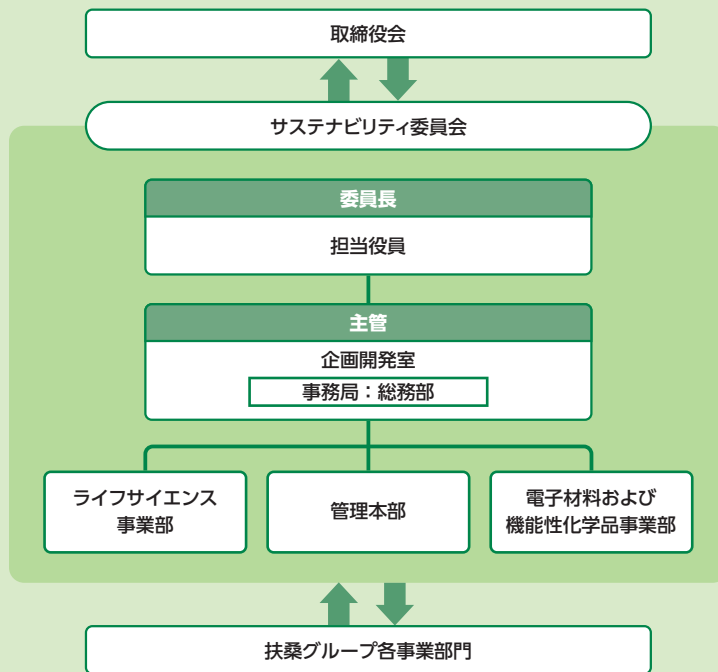
技術を通じて社会の課題解決に努め人々の暮らしの豊かさの向上・持続的な未来に貢献し続ける

### VISION FUSOの目指す姿

社業の繁栄によってあらゆるステークホルダーの豊かさを築く

### サステナビリティ基本方針

当社はグローバルニッチ企業のフロントランナーとして、その応用性と技術力で人々の暮らしの多様なシーンにおいて活躍し続けています。食品をはじめとする各産業界に貢献する果実酸とその誘導体、これからの社会における半導体産業に不可欠なシリカ関係製品群を提供し、未来に向け発展的な基盤を築いています。社是「限りなき進歩と創造」により取り組んできた絶え間なき向上心をもとに持続的な社会に貢献し、これからも永続的な企業価値の向上をはかってまいります。



## 企業版ふるさと納税

●2021年10月

福知山市へ寄付。救急車の更新、新型コロナウイルス感染防止対策の機材購入に貢献。



## 大阪市女性活躍リーディングカンパニー 最高位の『二つ星』認証

●2022年1月

制度面の整備に加え、実績が伴う企業に認証される『二つ星』の認証取得。



## 『健康経営優良法人』 認定取得

●2022年3月

FUSO健康宣言「良い製品は体と心の健康から生まれる」を内外に公表し、社員の健康に関する様々な施策実施。



## TOPICS 1

### 超高純度コロイダルシリカ 鹿島事業所起工式



2021年8月24日(火) 鹿島事業所にて、超高純度コロイダルシリカ製造設備の建設工事を始めるにあたり、工事の安全と順調な完成を祈念して起工式を執り行いました。8月当時の感染状況を踏まえ、建設関連の責任者並びに当社杉田社長をはじめとする関係者のみの出席となりました。

京都事業所に加えて、鹿島事業所に新たな超高純度コロイダルシリカの製造拠点を持つことで、より一層安定した製品供給に力を入れてまいります。完成は2023年4月を予定しております。

## TOPICS 3

### 新市場区分「プライム市場」選択

当社は、2021年7月9日付で株式会社東京証券取引所(以下「東証」)より、新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果を受領し、新市場区分において「プライム市場」の上場維持基準に適合していることを確認しました。

この結果を受け、2022年4月4日に予定されている東証の新市場区分への移行において「プライム市場」を選択し、東証に対して申請することを、9月開催の取締役会にて決議しました。東証の定めるスケジュールに基づき、新市場区分の選択申請に係る所定の手続きを進めております。

## TOPICS 2

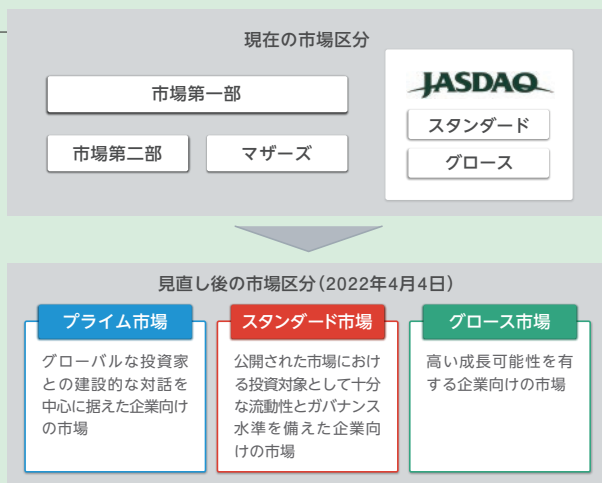
### 地方創生応援税制 (企業版ふるさと納税)



2021年10月25日(月) 福知山市役所において、大橋市長、水口消防長ご出席の中、企業版ふるさと納税寄附受納式が挙行され、当社杉田社長による挨拶ののち目録の贈呈が行われました。

「福知山市まち・ひと・しごと創生推進計画」が、2020年3月31日付けで、国から地方創生応援税制の対象計画として認定され、2千万円の寄付をさせて頂きました。

\* 2019年度にも同様の寄附を行い、化学消防ポンプ自動車の導入費の一部としてご活用頂きました。



## TOPICS

### 超高純度コロイダルシリカ 新設備建設



現在、超高純度コロイダルシリカは京都事業所内の2つの工場で製造されていますが、当社の東日本の製造拠点である鹿島事業所内に、3番目となる新たな製造設備を建設します。

半導体需要の増加により、主に半導体製造工程での精密研磨剤・CMP（化学的機械的平坦化）用途で使用されている超高純度コロイダルシリカの更なる需要

拡大が予想されています。

需要増に対応した供給体制の早期確立と、生産拠点分散によるBCP（事業継続計画）対策など、お客様の要求に応える万全な体制を整え、当社の高品質な製品供給力の優位性を一段と高めてまいります。

#### 設備投資の概要

所在地	茨城県神栖市東和田20番地 鹿島事業所内
設備投資内容	超高純度コロイダルシリカの製造設備及び付帯設備
投資予定額	約180億円
資金計画	自己資金により充当
操業開始時期	2023年4月(予定)

## SPECIAL NEWS

### 特報

#### 中期経営計画

# “FUSO VISION 2025”

2025年度（2026年3月期）までを、「更なる飛躍のための足場固めと新規事業創出・第三の柱構築への挑戦のための5年間」と位置づけ、当社グループの持続的な成長のため、「中期経営計画“FUSO VISION 2025”」を策定しました。事業環境の変化への対応と新たな価値の創造に挑戦し続けることで、社会課題の解決に貢献してまいります。



▶詳細は当社ウェブサイトでご覧いただけます。こちらからご覧ください。（通信料が発生する場合があります）

#### サブテーマ 社会課題の解決に貢献するFUSOであるために

##### 期間

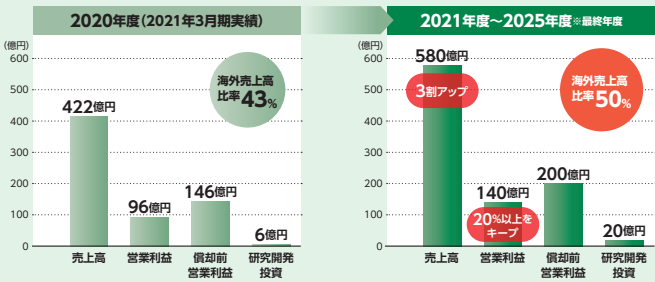
2021年度～2025年度（5ヶ年の中期計画）

##### 経営目標

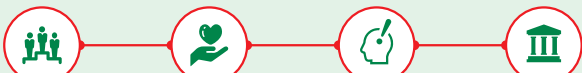
売上高580億円、営業利益140億円、償却前営業利益200億円を目指します

##### 経営方針

- ① 既存事業における拡大する需要の取り込み、着実な対応
- ② 新規事業・分野への投資・挑戦
- ③ 持続的成長を支える経営基盤の強化（SDGsの取り組み）



#### 目指す企業像



グローバルニッチトップを追求する  
**FUSO**

人々の暮らしの豊かさの向上・持続的な未来に貢献し続ける  
**FUSO**

現状に満足することなくInnovationに挑戦し続ける  
**FUSO**

既存事業に続く成長性ある第3の柱構築で例れない強い企業である  
**FUSO**

#### ●企業責任・SDGsの取り組み

<b>ライフサイエンス事業部</b> 食品素材および食品添加物製剤の開発で食品廃棄ロスを削減する	2 気候変動 3 健全な産業と労働 4 質の高い雇用 5 性別平等
<b>電子材料事業部</b> 超高純度コロイダルシリカの開発・生産で、デバイスの高精細化・高性能化に貢献し、社会インフラに寄与する	7 持続可能なエネルギー 8 持続可能な産業と労働 9 質の高い雇用 10 公正な社会
<b>管理本部</b> 健康で働きやすい環境により労働生産性の向上を図る	11 持続可能な都市とコミュニティ 12 持続可能な消費と生産 13 気候変動 14 海洋資源 15 陸域生態系

●排水規制を順守し環境負荷を削減 ●埋立ゴミを削減し山の保全に寄与 ●研修・教育体制の充実  
●産業廃棄物の減量化を推進 ●サプライチェーン全体の省エネとCO<sub>2</sub>削減 ●平等な評価・育成環境

「限りなき進歩と創造」の先にあるもの、当社グループは、その特定の分野で輝く数多くの金メダル製品と様々な価値観・アイデアを持つ社員がそれぞれの持ち場で生き活きと働き、社会に貢献し続けられる体力のある企業、そのような未来を思い描いています。

#### 経営方針

##### ① 既存事業における拡大する需要の取り込み、着実な対応

###### ライフサイエンス事業 事業方針

###### 市場環境

- 食品関連 ● 食品廃棄ロスに対する問題意識の高まり ● 健康に対する関心の高まり
- 工業関連 ● SDGsの意識の高まり
- 共通 ● 国内市場の縮小 ● 海外市場の拡大

###### 将来予測

- 食品関連 ● 限られた食糧資源を有効利用する技術の発達 ● 未利用資源を食用として利用できる技術の開発 ● 東南アジアを中心とした人口増加と生活レベルの向上に伴う需要の拡大
- 工業関連 ● 電子材料関連の市場の継続的な伸長 ● COVID-19の流行による需要構造の変化

###### 事業方針

- 社会変化や課題の解決に寄与する技術と製品を提供する
- 人々の食、健康、住環境の向上に寄与する製品を提供し続ける

###### 電子材料および機能性化学品事業 事業方針

###### 市場環境

- 半導体関連 ● コロナウイルス禍によるリモートワークの拡大 ● 5G、IoTの普及に伴う半導体の需要拡大 ● より便利で豊かさを求める消費者の増加
- 情報産業関連 ● 低消費電力をはじめとした低環境負荷への要望拡大

###### 将来予測

- 半導体関連 ● 新生活様式定着による半導体需要増 ● 半導体設備の微細化と多層化による需要増
- 情報産業関連 ● 暮らしの高機能化を支援する先端材料需要増 ● 環境負荷を低減できる材料の普及

###### 事業方針

- 超高純度コロイダルシリカ等の先端素材の開発・生産で、エレクトロニクス分野の高機能化で社会に貢献する

##### ② 新規事業・分野への投資・挑戦

重点戦略 **ライフサイエンス・電子材料に続く、第三の柱となる新規事業確立に挑戦**

###### 戦略的投資枠を設定 [主な検討手段]

- ✓ CVCファンドへのLP出資
- ✓ ベンチャー企業との連携
- ファンドの出資先スタートアップとの協業
- ✓ 産学連携
- 他のLPとの協業
- ✓ 社内外でのオープンイノベーションの推進
- ✓ M&A
- ✓ 外部リソースの活用

##### ● 第3の柱確立に向けた基盤を固め、道筋をつける

長期的視野に立った事業確立を目指しており、中期経営計画においてはその足掛かりとして売上10億円程度の事業化を目標とする。

##### ③ 持続的成長を支える経営基盤の強化

###### 多様性の推進・意識改革

###### Diversity

- イノベーションを生み出せる組織風土
- コーポレートガバナンスの一層の強化
- 社員が活躍できる職場 (多様な視点・価値観)
- 非財務目標の「定量化」「可視化」とコミットメント
- 働き方改革 (自己実現・働き甲斐)

###### 企業責任・SDGsの取組

###### ESG



## 扶桑ニュース

### 特集 ESGへの取り組み

#### TOPICS ① SDGs

扶桑化学工業株式会社は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

従来から取り組んできた、「製品を通じて社会に貢献する企業」として、さらに10年先を見据えて、両事業部門それぞれの取り組みを始められています。ライフサイエンス事業では「食品添加物の開発で食品廃棄ロスを削減する」、電子材料事業では「超高純度コロイダルシリカの開発・生産で、デバイスの高精細化・高性能化に貢献し、社会インフラに寄与する」企業を目指して事業に取り組んでいます。

当社ウェブサイトの「ESG」コンテンツ内に、新たにSDGsへの取り組みを紹介するページを追加しました。



#### TOPICS ② 企業紹介動画



こちらからご覧いただけます。  
(通信料が発生する場合があります)

鹿島事業所に完成した当社の新しいリンゴ酸設備、京都事業所に増設された超高純度コロイダルシリカの製造設備、更には東京研究所や当社製品を支える品質管理の現場を新たに加え、会社全般を紹介する約14分の新しい動画を公開しました。

#### TOPICS ③ 「ホワイト物流」推進運動

当社は、国土交通省・経済産業省・農林水産省が提唱する「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、自主行動宣言を提出いたしました。

「ホワイト物流」推進運動は、深刻化が続くトラックの運転者不足に対応し、国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保するとともに、経済の成長に寄与することを目的とし、トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化や、女性や高齢の運転者も働きやすい労働環境の実現に取り組むものです。

当社は、これまでも物流事業者と連携しながら、運転者不足に対応した環境と人に優しい物流システムの構築に取り組んでまいりました。今後も、取引先の協力のもと、一層の物流効率化に取り組み、物流事業者の労働環境の改善を着実に推進し、物流事業者との連携を通じて、持続可能な物流の実現を目指してまいります。



写真はイメージです。

#### TOPICS ④ 新型コロナウイルスへの対応

当社は、顧客への製品供給に影響が出ないよう、各事業所においてマスクの着用、アルコール消毒、検温、換気等の三密の回避といった新型コロナウイルス感染予防対策を実施・徹底しています。

通勤時の感染リスク軽減対策として導入した時差出勤やテレワークも、新しい働き方として定着してきています。

